

男女共同参画情報誌「f-wave」発行事業（市民課市民相談窓口係）

項目	内容
①事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 平成10年に策定した女性行動計画「あきる野女性プラン」^{※1}に基づき、男女共同参画社会の実現をめざし、男女共同参画意識を高め、男女の自立支援、市民の交流やネットワークの場となるよう、女性情報誌「f-wave」^{※2}を発行している。 情報誌の発行に当たっては、公募市民の編集委員会^{※3}により企画・編集され、10月と3月の年2回(10月と3月)発行している。 情報誌は、26,400部作成し、新聞折込による配布と公共施設へ配置している。 <p>※1 現在は、男女共同参画計画「あきる野男女共同参画プラン」(平成16年策定)</p> <p>※2 現在は、男女共同参画情報誌「f-wave」</p> <p>※3 平成22年度は、6人の委員で構成している。</p>
②経費	<p>【委員等の報酬・作成委託料・新聞折込手数料・配布手数料】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成22年度：A4版カラー8ページで、年2回発行する経費：1,239千円 平成23年度：タブロイド版2色4ページで、年2回発行する経費：560千円
③取り巻く状況	<p>【市民から寄せられた意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「f-wave」の表紙は、市の発行物という印象を受けにくいデザインである。 ⇒ 平成20年10月の号から、表紙の題字を「f-wave」から「男女共同参画」に変更した。また、老若男女を対象とした情報誌として、誰でもが手にとって読めるものにするため、紙面に市民を参加させるなど、身近な紙面になるようにした。 <p>【議会から寄せられた意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報誌の発行やフォーラムの開催を実施しているが、平成21年度の市民アンケートの結果を見ると、市民の認知度は低い^{※4}中、毎年、同じ事業を継続するのではなく、取組を変えていく(主にフォーラム)必要があるのではないか。 ※4 情報誌やフォーラムの実施を知っているかという質問に対し、「知らない。」と回答した人が前年に比べて5.6パーセント増えており、「知っている。」と「どちらかといえば知っている」。を合わせた人を除いた人が全体の7割を占めている。また、「知らない。」と答えた人が、4割を超えている。 情報誌の経費に削減に係る質問があった。 ⇒ 質問を受け、経費削減を検討した結果、平成23年度からは、広報あきる野と同じスタイルに変更(形式・色数)することを予定(上記②のとおり)している。
⑤これまでの改善の取組	<ul style="list-style-type: none"> これまでの取組(上記③のとおり:表紙の題字の変更、紙面への市民の参加) 今後の取組(上記③のとおり:形式と色数の変更)
⑥市民アンケートの結果	<p>【本事業が含まれる「男女共同参画社会の実現」施策の重要度と満足度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要度：40施策中の39位(下位) 満足度：40施策中の17位(中位)
⑦課題	<ul style="list-style-type: none"> 市民アンケートの結果を見ると、重要度が低い、満足度は中位に位置している。この結果は、厳しい財政状況の中、事務事業の選択と集中を進めていくためには、今後、市として積極的に施策展開を図る事業ではないといえる。